

具体的な取組の柱					
事項		益田市	島根県	気象台	国交省
具体的取組					
①迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組					
■洪水氾濫を未然に防ぐ対策の推進					
・高津川改修	U	R5 当初計画			整備計画に基づき実施
		R6 3月末時点			防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策として、高津川高角橋付近において河床掘削を実施
■避難行動・水防活動に資する基盤等の整備					
・避難行動等に資する情報提供設備の整備及び水位予測の精度向上	D,M,N	R5 当初計画		大雨警報(浸水害)・注意報、洪水警報・注意報の基準について、評価及び検証を継続し、必要に応じ基準の見直しを行う。また、各種プロダクトの改善を随時実施し、HP等により公開する。 ①顕著な大雨に関する気象情報をより早く提供 線状降水帯による大雨の危機感を少しでも早く伝えるため、予測技術を活用し現在より30分程度早く発表(令和5年5月25日～)	避難行動等に資する情報提供設備の整備及び水位予測の精度向上
		R6 3月末時点		令和5年度の増員により「気象情報基準評価係」「流域治水対策係」を新設し、気象情報の基準見直し体制や流域治水に関する知見の蓄積を強化した。 大雨警報(浸水害)・注意報、洪水警報・注意報の基準について、評価及び検証を継続し、必要に応じ基準の見直しを行った。また、各種プロダクトの改善を随時実施し、HP等により公開した。 ①顕著な大雨に関する気象情報をより早く提供 線状降水帯による大雨の危機感を少しでも早く伝えるため、予測技術を活用し現在より30分程度早く発表(令和5年5月25日～) ②台風進路予報及び暴風警戒域をより絞り込んで発表 数値予報技術等の改善を踏まえ、台風進路予報の予報円の大きさ及び暴風警戒域を現在より絞り込んで発表(令和5年6月26日～)	①水位表示板の更新・設置箇所を検討、次年度以降に現地対応の予定 ②指定河川洪水予報(国河川)の氾濫危険情報を予測でも発表(令和4年6月13日から継続)
・洪水に対しリスクの高い箇所を監視する簡易水位計等の整備	U	R5 当初計画			危機管理型水位計の更新予定
		R6 3月末時点			危機管理型水位計2か所の更新
■想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づくハザードマップの作成・周知等					
・想定最大規模降雨に対応したハザードマップに基づく避難計画の見直し(避難場所及び避難経路の検討、広域避難の必要性検討、隣接市町との洪水時の連絡体制の検討)	E,F,G,J,緊	R5 当初計画	ハザードマップを活用し、地域の避難計画等の修正又は作成を進める		
		R6 3月末時点	ハザードマップの更新に向けて検討中		
・想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づく避難指示等を発令する範囲の見直し	C,E,F,G	R5 当初計画	予定なし		
		R6 3月末時点	-		
・洪水浸水想定区域内の要配慮者(社会福祉施設等)利用施設の管理者が策定する避難確保計画作成・訓練実施の支援や定住外国人等を対象とした避難情報の提供	J	R5 当初計画	継続して避難確保計画策定等支援を行う		-
		R6 3月末時点	①関係部署と連携し、避難確保計画作成後のフォローアップ及び訓練の実施依頼 ②市内小学校の避難訓練指導 ③ケアマネジャーに対する支援を実施	令和5年度の増員により「要配慮者対策係」を新設し、要配慮者への支援を強化した。 <県内での取組例> ・松江社会福祉協議会において、「大雨災害と気象台の発表する防災気象情報」と題した講演を行い、防災気象情報の理解を促進した。 ・令和5年度避難行動要支援者・個別避難計画実務研修(松江市、浜田市)において、「避難にむすづく防災気象情報の利活用」と題した講演を実施し、避難計画作成等の支援をした。 ・外国人に対する職員の防災支援力向上のため、外国人サポーター養成研修に参加した。	①出前講座の調整時点で他機関から講座を受講済みであったため、今年度は未実施、来年度に実施予定 ②第1回減災対策協議会において、要配慮者利用施設の避難確保計画作成・活用に関する情報提供を実施
・夜間、荒天時における避難指示等の発令基準の作成・避難誘導体制の検討	K	R5 当初計画	躊躇なく避難指示等の発令ができるよう、発令基準や災害時動員体制を再確認する		
		R6 3月末時点	発令基準や災害時動員体制を再確認		
・高津川の水害リスクを踏まえ、商工会議所等と連携した企業向け水害(防災)教育及び大規模氾濫を想定した自衛水防の講習会や訓練の実施	F,H	R5 当初計画	協議会の一員として開催に協力する	要請に応じて参加・支援	各種講習会・訓練等の開催に協力し、支援を行う。
		R6 3月末時点	対象企業の選定等に協力	要請がなく未実施	協力依頼・要請がなく、未実施
・想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づくハザードマップを作成し、洪水浸水想定区域内の各戸・事業所への配付やまごまごハザードマップによる災害リスクの現地表示の実施	A,E,F,G,J,緊	R5 当初計画	ハザードマップは配付済み		益田市におけるまごまごハザードマップの設置箇所などを引き続き検討
		R6 3月末時点	-		高津川左岸(益田市高津町内)の緊急避難場所への設置に向けた浸水深表示板(案)を作成
■多様な防災活動を含むタイムラインの作成					
・河川管理者、沿川自治体、住民、交通サービス、道路管理者等と連携したタイムラインの運用及び見直し	B,緊	R5 当初計画	協議会の一員としてタイムラインの運用及び見直しに協力する	運用および実水害等による見直しに協力する	水害対応タイムラインの確認・調整(水害対応タイムラインにおいて、依頼に基づき防災気象情報を有効に活用する観点から助言を行う)
		R6 3月末時点	タイムラインの運用及び見直しに協力	運用及び実水害を踏まえた見直し検討に協力	計4回の高津川タイムライン立ち上げ・運用に協力
■情報伝達、避難計画等に関する事項					
・洪水時における河川管理者からの情報提供等(ホットラインの構築)	緊	R5 当初計画	協議会の一員としてホットラインの構築に協力する	県管理河川のタイムラインを活用して情報提供 ※タイムライン対象は高津川上流および津和野川の一部	-
		R6 3月末時点	ホットラインの構築に協力	県管理河川における情報提供を実施	特になし

具体的な取組の柱						
事項						
具体的取組		益田市	島根県	気象台	国交省	
■防災教育や防災知識の普及						
・高津川において、堤防の越水時や決壊時における流水の破壊力に関するイメージ動画の作成・公開	A,B,F	R5 当初計画			引き続き実施	
		R6 3月末時点			継続して実施	
・「川の防災情報」や地上デジタル放送のデータ放送、水害リスクラインの活用促進のための周知や二次元コード、SNSの有効活用	H,I,M,S,緊	R5 当初計画	協議会の一員として周知等に協力する	島根県水防情報システムや、島根防災メールによる河川情報の発信	出前講座等、及び気象資料の照会を受けた際、防災気象情報等の入手先のひとつとして「川の防災情報」を紹介する。 また、webによる市町村支援として、「気象防災ワークショップ」の開催や、「あなたの町の予報官TV」の動画配信を継続して実施する。	水害リスクライン等の活用促進のための周知や二次元コード、SNS(Twitter)の有効活用
		R6 3月末時点	出前講座での周知等に協力	水防情報システムや防災メールにより河川情報を発信	出前講座や気象資料の照会を受けた際に、防災気象情報等の入手先のひとつとして「川の防災情報」を紹介した。 (令和5年6月16日～7月3日) 島根県内市町村防災担当者向けに、「気象防災ワークショップ(土砂災害編・洪水編)」を、web会議により計10回開催し、地域防災力の向上を支援した。 島根県内市町村防災担当者向けに、「あなたの町の予報官TV」と題した情報提供コンテンツを、毎週金曜日夕刻に「youtube」にて配信。週末にかけて、県内の気象に関する留意点等を動画にて平易に解説(異常気象が見込まれる際は、臨時配信)	Xを活用した防災情報等の発信
・小中学校などと連携した高津川水系の洪水の特徴を踏まえた水害(防災)教育の普及・充実	H	R5 当初計画	出前講座等の実施	要請に応じて参加・支援	出前講座等の実施により、防災気象情報の利活用をはじめとする防災知識の普及を行う。	益田市内の小中学校を対象とした防災教育を引き続き実施
		R6 3月末時点	出前講座、避難訓練に協力	要請がなく未実施	協力依頼・要請がなく、未実施	防災出前講座を実施(1/24 高津小学校)
・住民の水防災意識の向上に資するイメージ動画等のツールを活用した、より実践的な防災教育の実施、堤防施設の機能等に関する定期的な住民への説明会や情報提供、避難訓練への参加促進を実施	B,H,I,M,緊	R5 当初計画	協議会の一員として開催に協力する	住民に対して、広報誌などで施設機能について情報提供	出前講座等の実施により、防災気象情報の利活用をはじめとする防災知識の普及を行う。	出前講座等において住民への説明を実施
		R6 3月末時点	高津川ワークショップやパネル展開催に協力	新聞広報(考える県政)による情報発信	(令和5年10月29日) 「島根県総合防災訓練」において、展示ブースを開設。広く一般住民に向け防災に関する展示・解説を実施し、防災知識の普及・啓発を行った。	①第3回高津川左岸流域治水事業ワークショップを開催し、マイ・タイムラインなどを説明(6/19) ②万葉の里ひとまるフェスタ来場者を対象に流域治水の取組に関する説明を実施(7/16) ③昭和58年7月豪雨から40年、平成30年7月豪雨から5年のパネル展を商業施設などで開催(7/24～8/20) ④みすみフェスティバルで、流域治水の取組などのパネル展を実施(11/11) ⑤昭和58年7月豪雨から40年に関する新聞広告を作成
・スマートフォン等へのプッシュ型の洪水情報発信	I,M	R5 当初計画				プッシュ型の洪水情報発信を引き続き実施
		R6 3月末時点				対象とする出水は無かったが、プッシュ型の洪水情報発信は引き続き実施
・住民一人一人の避難計画・情報マップ(マイ・タイムライン)の作成促進 ※令和5年度までに全小中学校、自治会において、マイ・タイムラインの作成支援を実施	緊	R5 当初計画	協議会の一員として作成促進に協力する	要請に応じて参加・支援		地域からの要望も踏まえて講習会等によるマイ・タイムラインの作成支援を実施予定
		R6 3月末時点	出前講座での周知等に協力	要請がなく未実施		第3回高津川左岸流域治水事業ワークショップ内(益田市高津町内)で、マイ・タイムラインについて説明(6/19)
■減災・防災に関する国の支援						
・適切な土地利用の促進	緊	R5 当初計画				震源背後地における土地利用規制等を促進するため、引き続き、水害リスクを情報提供
		R6 3月末時点				引き続き、情報提供を実施
・地域防災力の向上のための人材育成	緊	R5 当初計画				地域に精通し水害・土砂災害リスク等に関する豊富な知見を有する専門家による支援
		R6 3月末時点				支援要請はなく、未実施
・水防災社会再構築に係る地方公共団体への財政的支援	緊	R5 当初計画				必要に応じて実施
		R6 3月末時点				該当無しのため未実施
・代行制度による都道府県に対する技術支援	緊	R5 当初計画				必要に応じて実施
		R6 3月末時点				該当無しのため未実施
・災害時及び災害復旧に対する支援	緊	R5 当初計画				必要に応じて実施
		R6 3月末時点				該当無しのため未実施
・災害情報の地方公共団体との共有体制強化	緊	R5 当初計画				必要に応じて実施
		R6 3月末時点				該当無しのため未実施
②氾濫特性を踏まえた効果的な水防活動						
■避難行動・水防活動に資する基盤等の整備						
・避難行動等に資する情報提供設備の整備及び水位予測の精度向上(再掲)	D,M,N	R5 当初計画				洪水予報の改善
		R6 3月末時点				①水位表示板の更新・設置箇所を検討、次年度以降に現地対応の予定 ②指定河川洪水予報(国河川)の氾濫危険情報を予測でも発表(令和4年6月13日から継続)
・洪水に対しリスクの高い箇所を監視する簡易水位計等の整備(再掲)	U	R5 当初計画				設置予定なし
		R6 3月末時点				危機管理型水位計2か所の更新
・樋門の無動力化の推進	U	R5 当初計画				樋門無動力化の実施予定
		R6 3月末時点				角井排水樋門において実施中(R5年度完了予定)

具体的な取組の柱					
事項		益田市	島根県	気象台	国交省
具体的取組					
■水防活動の効率化及び水防体制の強化					
・消防団員と兼務する水防団員への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施及び人員の確保	L,N	R5 当初計画	実際の水防活動の際は、消防本部からの指示(メール、電話等)によるものであり、消防本部により連絡体制の確認を徹底する		
		R6 3月末時点	消防本部による連絡体制の再確認を実施		
・高津川の重要水防箇所等洪水に対しリスクが高い区間について消防団員と兼務する水防団員や地域住民が参加する合同点検を実施	H,M	R5 当初計画	合同点検等に参加する		合同点検等を実施
		R6 3月末時点	合同点検に参加		益田市職員・消防本部職員・益田市消防団員と共同で重要水防箇所の現地確認を実施
・水防活動の知識習得と技術力向上のため、総合防災訓練等と合わせて、水防専門家を講師とした講習会を実施	O	R5 当初計画	益田市防災訓練時に水防団を対象に水防工法等の演習を実施する	要請に応じて参加・支援	各種講習会に参加する。また、開催に協力し、支援を行う。
		R6 3月末時点	各地区訓練時に水防工法等の演習を実施	要請がなく未実施	協力依頼・要請がなく、未実施
・備蓄水防資材情報の共有及び非常時における広域的な相互支援方法の確認	P	R5 当初計画	令和5年度益田市水防計画を策定する	出水期前に関係機関と調整会議などによる情報共有や資材の合同点検を実施	備蓄水防資材情報の共有および相互支援方法の確認
		R6 3月末時点	R5.11 令和5年度益田市水防計画策定	水防計画による情報共有を実施	水防連絡会、洪水予報連絡会、災害情報協議会を開催
・市庁舎の水害時における対応について、業務継続計画を策定及び機能確保のための対策の充実	Q,緊	R5 当初計画	機能確保のための対策を図る		
		R6 3月末時点	機能確保のため庁舎点検等を実施		
・樋門操作に関する人員の確保と操作訓練の実施	T	R5 当初計画	樋門操作員等研修会への参加を促進する	要請に応じて参加・支援	樋門操作に関する人員の確保と操作訓練の実施
		R6 3月末時点	樋門操作員等研修会に参加(R5.6.5)	要請がなく未実施	国交省職員、委託操作員、点検業者を対象とした操作訓練を実施(実施箇所は、奥田排水樋門、神田救急内水排水機場)
③浸水を一日も早く解消するための排水対策					
■排水活動に資する基盤等の整備					
・高津川改修(再掲)	U	R5 当初計画			整備計画に基づき実施
		R6 3月末時点			防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策として、高津川高角橋付近において河床掘削を実施
・樋門等の修繕計画を作成し、計画的に予算を確保し修繕を実施	R	R5 当初計画	修繕計画中(南田、竹子:令和5年度計画中)		
		R6 3月末時点	修繕実施中		
・樋門の無動力化の推進(再掲)	U	R5 当初計画			樋門無動力化の実施予定
		R6 3月末時点			角井排水樋門において実施中(R5年度完了予定)
・排水設備の耐水性の強化	緊	R5 当初計画	現在は未実施	-	実施予定なし
		R6 3月末時点	実施予定なし	-	-
■排水作業準備計画(案)の作成及び排水訓練の実施					
・排水作業準備計画に基づく排水訓練の実施	S,緊	R5 当初計画	-	-	排水作業準備計画に基づく排水訓練の実施及び訓練を踏まえた見直し
		R6 3月末時点	-	-	国交省職員と災害時の対応を行う協力業者で、排水ポンプ車の合同操作訓練を実施
新たな取組					
■報道機関との連携					
報道機関との懇談会をwebにて開催	-	R5 当初計画			報道機関との懇談会をweb会議にて主催し、水害をはじめとする防災知識の普及・啓発・周知について連携を強化する。
		R6 3月末時点			令和5年度の増員により「リスクコミュニケーション推進官」を新設し、報道機関や公共交通機関等との連携を強化した。 【第6回】(令和5年7月7日) 「二重備波気象レーダーについて」 「「顕著な大雨に関する気象情報」の新たな運用について」 【第7回】(令和5年11月30日) 「冬期気象状況の経年変化、予想される冬の天候、雪に関する気象情報について」 ※いずれも、浜田河川国道事務所をはじめとする県内各河川国道事務所と共催